

福井県国際交流会館(1/2)

国際交流会館から世界が見える!

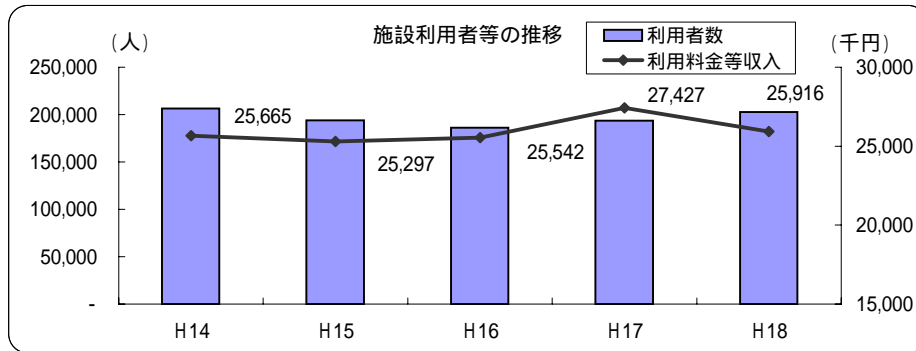
所在地	福井市宝永3丁目1-1		
設置年月日	平成8年10月5日		
施設の種類	貸館・貸室	施設管理主体	指定管理者(財)福井県国際交流協会
設置の目的	福井県における国際交流活動を促進し、世界に開かれた地域社会の実現を図る。		
概要 (構造、面積、主な機能)	構造、面積:SRC、地上3階、地価1階 敷地面積4,453.19㎡、延床面積 6,449.90㎡ 主な機能:多目的ホール、旅券室、情報相談コーナー、会議室、研修室、特別会議室		
職員数	指定管理者(団体職員10人、アルバイト2人 計12人)		

利用状況等

	H14	H15	H16	H17	H18
利用者数(人)	206,565	193,773	186,056	193,724	202,732
情報相談コーナー利用者数(人)	68,627	70,887	60,592	62,438	60,124
貸施設稼働率(%)	44.8	40.4	42.5	60.9	59.5

利用者負担(利用料金)等

施設使用料	会議室(午後)	6,800円
	特別会議室(午後)	29,200円
	多目的ホール(平日午後)	27,500円



施設の特徴

多目的ホールや特別会議室は、5カ国語同時通訳設備を備えており、本格的国際会議も開催できます。

また、和室・茶室では日本の文化・伝統に触れ、お茶会等にも利用されています。



【情報相談コーナー】

海外のさまざまな情報の提供、相談業務を行っています。

6,983冊の図書を配架
外国語新聞14紙、外国語雑誌34誌を常備



【外国語による外国文化紹介講座】

世界の文化や習慣、言語について理解を深めていただけるような各種講座を開催しています。

【常設日本語講座】

日本語指導者養成講座を開催し、ボランティアの要請にも力を入れています。



平成18年度の特徴について

事業実績

平成18年4月から、指定管理者に(財)福井県国際交流協会を指定し、新たな取組みを行っています。

(管理委託期間 平成21年3月までの3年間、指定管理料総額312,000千円)

- 貸出予約期間の拡大 半年または1年前 2年前
- 会館案内表示の見直し
- 新たなパンフレットや利用の手引きを作成し、利用促進に向けた営業活動実施
- 県の公共施設予約システムと連携し、HPによる空き情報の提供
- 見学誘致プログラムを作成し、小中学校に紹介した結果、16件受入れしました。

【全体としての利用状況等】

- 図書貸出 1,331冊
- 平成18年度相談件数 2,573件
- 無料法律相談会・行政書士相談会相談件数 64件
- 常設日本語講座レッスン申込数 198件

利用状況の推移

ほぼ毎年、20万人前後の利用があります。

平成18年度は、開館10周年を迎え、様々な記念行事が行われたこともあり、利用者数は前年比4.6%増加し、20万人を超えました。

会議室の貸出状況は、平均稼働率が59.5%で、平成17年度の60.9%から1.4ポイント減少しました。

情報相談コーナー利用者数は60,124人で、平成17年度の62,438人から3.7%減少しました。

これは、インターネットで情報入手する人が増えていることや、大学の留学生センター等におけるサポート体制が充実してきたことによるものと考えられます。

福井県国際交流会館(2/2)

行政コスト計算書(平成18年度) (単位:千円)

		総額	構成比	前年比
人にかかるコスト	人件費	0	0.0%	-
	退職給与引当金繰入	0	0.0%	-
	計	0	0.0%	-
物にかかるコスト	物件費	104,000	49.2%	80.7%
	維持補修費	479	0.2%	17.9%
	減価償却費	100,932	47.8%	100.0%
	計	205,411	97.2%	88.3%
その他	公債費(利子)	5,868	2.8%	27.3%
	その他	0	0.0%	-
	計	5,868	2.8%	27.3%
合計		211,279	100.0%	83.2%
収入	利用料等収入	0	0.0%	皆減
	その他収入	0	0.0%	皆減
	一般財源	211,279	100.0%	93.3%

バランスシート(平成19年3月31日現在) (単位:千円)

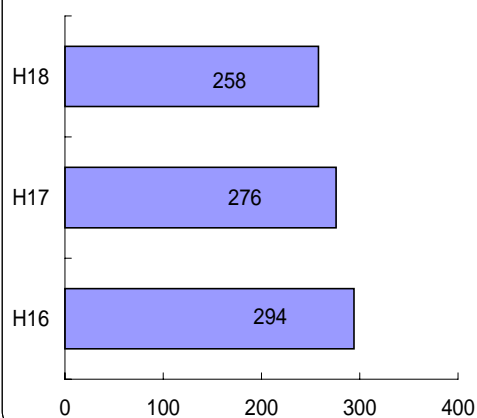
借方			貸方		
資産		前年比	負債		前年比
有形固定資産	5,646,655	98.2%	固定負債	0	皆減
うち土地	1,607,581	100.0%	うち起債残高	0	皆減
うち建物	3,972,732	97.6%			
うち美術品・備品	66,342	97.6%			
投資等	0	-	流動負債	91,993	31.0%
流動資産	0	-	正味資産	5,554,662	103.6%
計	5,646,655	98.2%	計	5,646,655	98.2%

主な指標 (単位:%、円/人)

	H18	H17	前年比
県民1人あたり有形固定資産額	6,899	7,000	98.6
県民1人あたり将来負担額	0	0	-
世代間負担率	98.4	93.2	105.6

バランスシート、行政コスト計算書の特徴	<p>平成18年度から指定管理者制度を導入した結果、施設の利用料金等が指定管理者の収入となり、その収入分を差し引いて委託するため、物件費と利用料金等収入が前年比80.7%、皆減と大幅に減少しています。</p> <p>一般財源ベースでは、前年比6.7%の減少となり、県民1人あたりの県負担コストは、前年比6.5%と改善されました。</p> <p>また、17年度は自動ドアセンサー取替えやトイレ、空調の修繕に2,673千円を要したため、修繕費を除いた一般財源ベースでは、前年比5.8%となっています。</p> <p>なお、建設時の起債償還が平成19年度で終わり、職員配置もないことから、将来負担につながる負債がありません。</p>
施設の目的上、管理運営上、主要な事業	<p>施設管理運営 【H19予算額:79百万円】</p> <p>国際化支援事業 【H19予算額:8百万円】</p> <p>多言語情報紙、広報誌の発行、外国新聞・図書等の配備 ホームページ、携帯電話での多言語情報提供 外国人生活相談(カウンターでの一般相談、弁護士・司法書士による相談会) 日本語講座、日本語指導者養成講座、国際交流・協力のつどい、外国文化紹介講座等</p>
今後の課題	<p>貸施設の稼働率の数値目標60%に対して、18年度の実績は59.5%でした。目標達成のためにも、より一層のサービス向上に努めるとともに、新たな利用ニーズを掘り起こし、稼働率を伸ばしていく取組みが必要です。</p>
今後の事業方針取組み内容	<p>貸施設の稼働率は、目標の60%を上回るよう、より一層のサービス向上による稼働率の向上を目指し、次の取組みを行います。</p> <p>施設、設備の特徴や使い方をわかりやすく掲載したパンフレット等を活用して、積極的な営業活動を行い、新たな需要の掘り起こしに努めます。</p> <p>部屋の空き状況をホームページに掲載する等利便性の向上を図ります。</p>

県民1人あたりのコスト負担の状況(円)



人口千人あたりの国際交流会館利用者数比較(H18)

